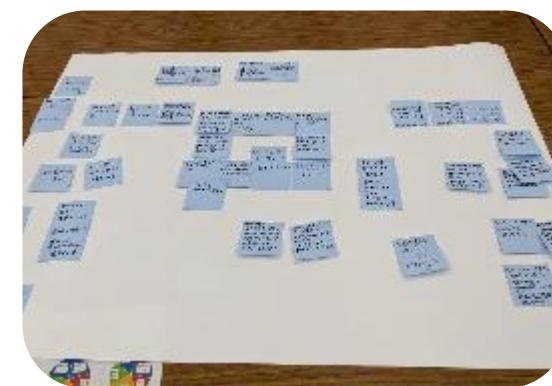


# 生産者の思いをつなぐ 産地育成

～危機感で広がる話し合いと  
共感で進める産地の取り組み～



岡山県備前県民局農林水産事業部  
備前広域農業普及指導センター  
担い手・農産班 谷本純二

# 【プロローグ】

(面談の結果、研修生を受け入れられなくなった別れ際)

私：これからも新たな担い手の募集を続けますか？

リーダー：産地を続けるためには、どんどん入れていかないと。

私：それでは、産地の皆さんで受け入れる仕組みを作りますか？

リーダー：やりましょう！

# 【プロローグ】

(面談の結果、研修生を受け入れられなくなり、(実際)

きっかけは「危機感」、

私：これからの新たなリーダーの募集を続けますか？  
そして、リーダーの「決断」だった。

リーダー：産地を続けるためには、どんどん入れていかないと。

私：それでは、産地の皆さんで受け入れる仕組みを作りますか？

リーダー：やりましょう！

# 【目次】

## 1. 産地紹介

## 2. 取り組みの歩み

- (1) 関係機関でチームを作ろう！！
- (2) リーダーをチームで支えよう！！
- (3) 生産者の声を聴き、見える化しよう！！
- (4) 行動を具体化し、共有しよう！！
- (5) 成功事例から学ぼう！！
- (6) 産地育成という名の車輪を回そう！！

## 3. まとめ

# 1. 産地紹介

- ・ 対 象：JA岡山ぶどう部会裳掛支部  
(30戸、12.3ha)
- ・ 品 目：ぶどう
- ・ 品 種：ピオーネ、シャインマスカット等
- ・ 作 型：加温栽培、無加温栽培、簡易被覆栽培
- ・ 来 歴：昭和34年に葉たばこ耕作跡地でぶどう栽培開始  
昭和48年から県下に先駆けてピオーネ導入  
無核化処理技術の確立に貢献
- ・ 新規参入：平成28年以降、研修を活用した新規参入者なし



# 1. 産地紹介

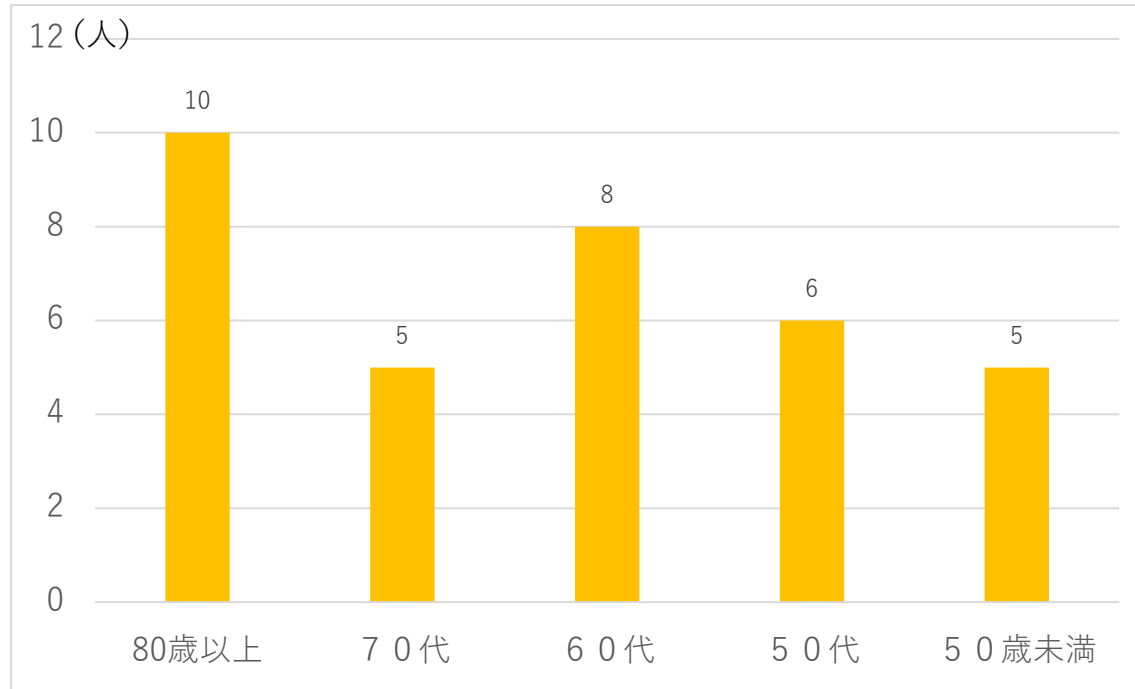
## 瀬戸内市裳掛地区の位置

瀬戸内海に面した平地の少ない地区。  
大半が山を切り開いた傾斜地のほ場。



# 1. 産地紹介

## 部会全体の年齢構成（R4年）



### 【70歳以上の方の後継者の予定】

- ・後継者が5年以内に就農予定：1名
- ・後継者になる候補者がいる：4名
- ・後継者の目途が立っていない：3名
- ・無回答：1名

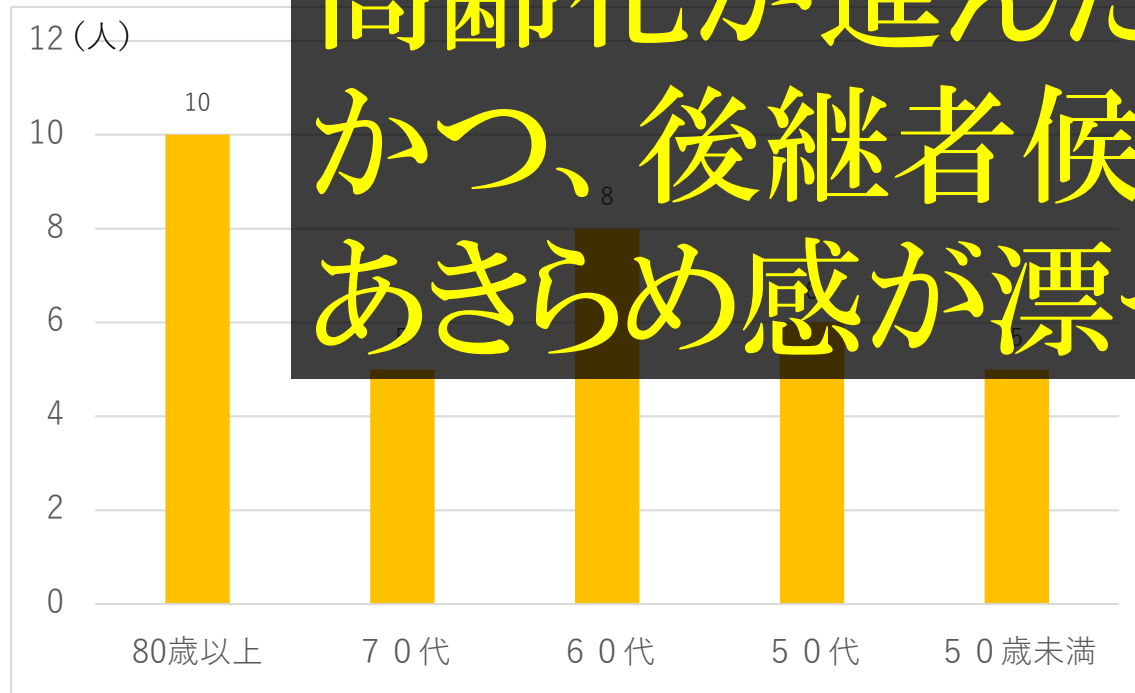
### 【5年後の予定】

- ・規模拡大：3名（現状10a程度）
- ・現状維持：17名
- ・継続困難：1名
- ・無回答：2名

（R4アンケート：回答数23/34）

# 1. 産地紹介

## 部会全体の年齢構成（R4年）



高齢化が進んだ産地で、かつ、後継者候補が少ないため、あきらめ感が漂っていた。

### 【70歳以上の方の後継者の予定】

- ・後継者が5年以内で就農予定 : 1名
- ・後継者になる候補者がいる : 4名
- ・後継者の目途が立っていない : 3名
- ・無回答 : 1名

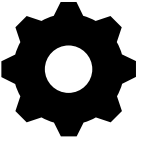
### 【5年後の予定】

- ・規模拡大 : 3名（現状10a程度）
- ・現状維持 : 17名
- ・継続困難 : 1名
- ・無回答 : 2名

（R4アンケート：回答数23/34）

## 2. 取り組みの歩み

産地育成  
支援チーム結成



### (1) 関係機関でチームを作ろう！！

- ・産地育成は、チーム力が必須
- ・産地育成に関わる関係機関、関係者を具体的に把握
- ・適宜、情報共有、産地の方向性を確認  
適材適所の役割分担の上、支援を実施

#### 【関係機関】

岡山県備前県民局  
農業振興課

岡山県備前県民局  
普及指導センター  
(担い手担当)

岡山県備前県民局  
普及指導センター  
(技術担当)

瀬戸内市  
産業振興課

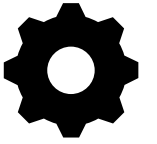
(一財)瀬戸内振興公社

JA岡山

JA岡山ぶどう部会  
裳掛支部

## 2. 取り組みの歩み

リーダー  
と連携



### (2) リーダーを関係機関で支えよう！！

- ・ 主役は生産者、そしてそれを率いるリーダー
- ・ リーダーは責任重大 ← 失敗すると産地内での立場が…
- ・ リーダーに任せきらない
- ・ リーダーを（陰で）支えるのは関係機関（チーム）

【重要】 目標を揃えておくこと。

## 2. 取り組みの歩み

### (3) 生産者の声を聴き、見える化しよう！！

#### ○ 手順：GROWモデル

- ・ Goal - Reality - Options - Will  
(目標) (現実) (選択肢) (意思)

#### ○ 意見出し・取りまとめ：KJ法

- ・ たくさんの意見や情報をまとめるための方法

#### ○ 進め方：ファシリテーション

- ・ 参加者から様々な意見をバランスよく引き出し、意見を整理して合意形成する手法

## 2. 取り組みの歩み

### (3) 生産者の声を聴き、見える化しよう！！

○ 手順：GROWモデル ⇨ 様々な思いを整理する道筋

Goal  
(目標)

- ・産地をなんとか維持したい
- ・新しい仲間がほしい

ギャップ



Options  
(選択肢)

- ・新しい人が就農しやすい仕組みを作る
- ・農地の確保が必要だ！
- ・就農希望者の募集も積極的にやろう



Will  
(意思)

- ・よし、みんなでやろう！

総論OK

Reality  
(現実)

- ・産地が高齢化してきたなあ…
- ・後継ぎがないなあ…
- ・経費をかけずに早出しできる産地だ！
- ・ぶどうがなくなると地域もなくなるのでは

## 2. 取り組みの歩み

(3) 生産者の声を聴き、見える化しよう！！

○ 手順：GROWモデル ⇨ 様々な思いを整理する道筋

**各論はどうなんでしょう？**

- ・産地をな
- ・新しい仲間がほしい



Options  
(選択肢)

- ・新しい人が就農しやすい仕組みを作る
- ・農地の確保が必要だ！
- ・就農希望者の募集も積極的にやろう



Will  
(意思)

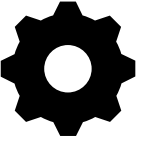
- ・よし、みんなで作ろう！

**総論OK**

産地だ！  
いそうがなくなると地域はなくなるのでは

## 2. 取り組みの歩み

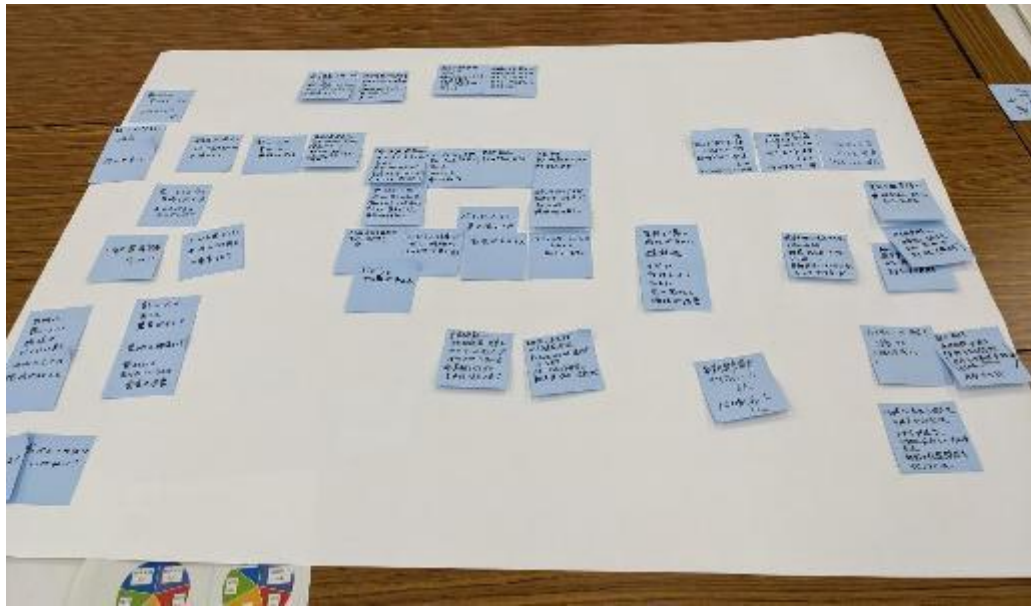
当事者  
意識



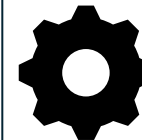
(3) 生産者の声を聴き、見える化しよう！！

○ 意見出し・取りまとめ：KJ法

○ 進め方：ファシリテーション



目的：参加者全員を当事者にする！



## 2. 取り組みの歩み

### (4) 行動を具体化し、共有しよう！！

#### 意見の聴収



#### 意見の整理



#### 意見の共有

- ・対象：ベテラングループ  
若手グループ

※ 意見を出しやすくするため、  
年齢でふたつに分けて実施。  
リーダーは両方に参加。

- ・対応：普及センター

※ 時間の都合で普及センター  
がまとめ、方向性を整理。

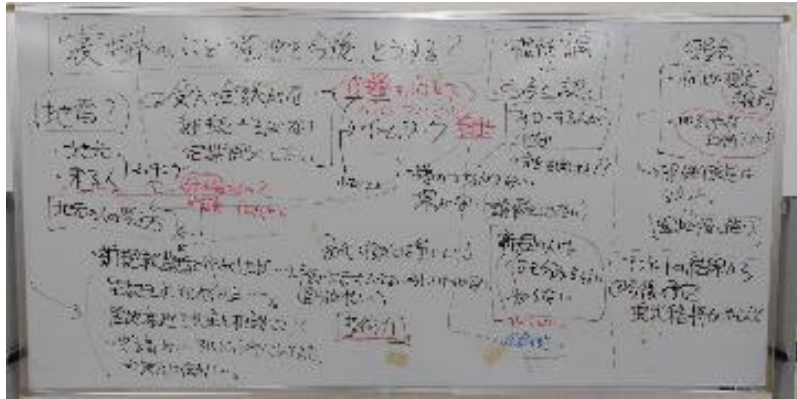
- ・役員会での説明・承認

※ 産地として取り組む姿勢  
を伝える。  
役割分担等はなし。

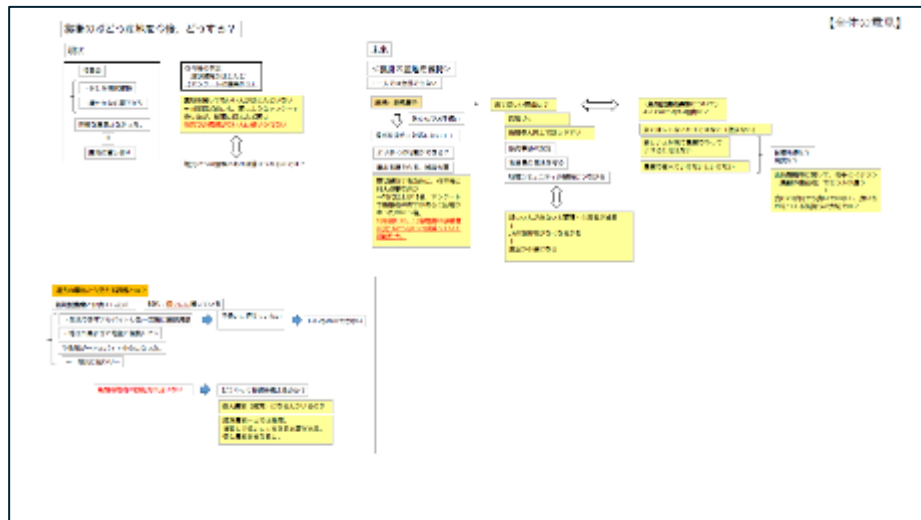
どこかで聞いた言葉が紡ぐ、未来予想図の共有

# 2. 取り組みの歩み

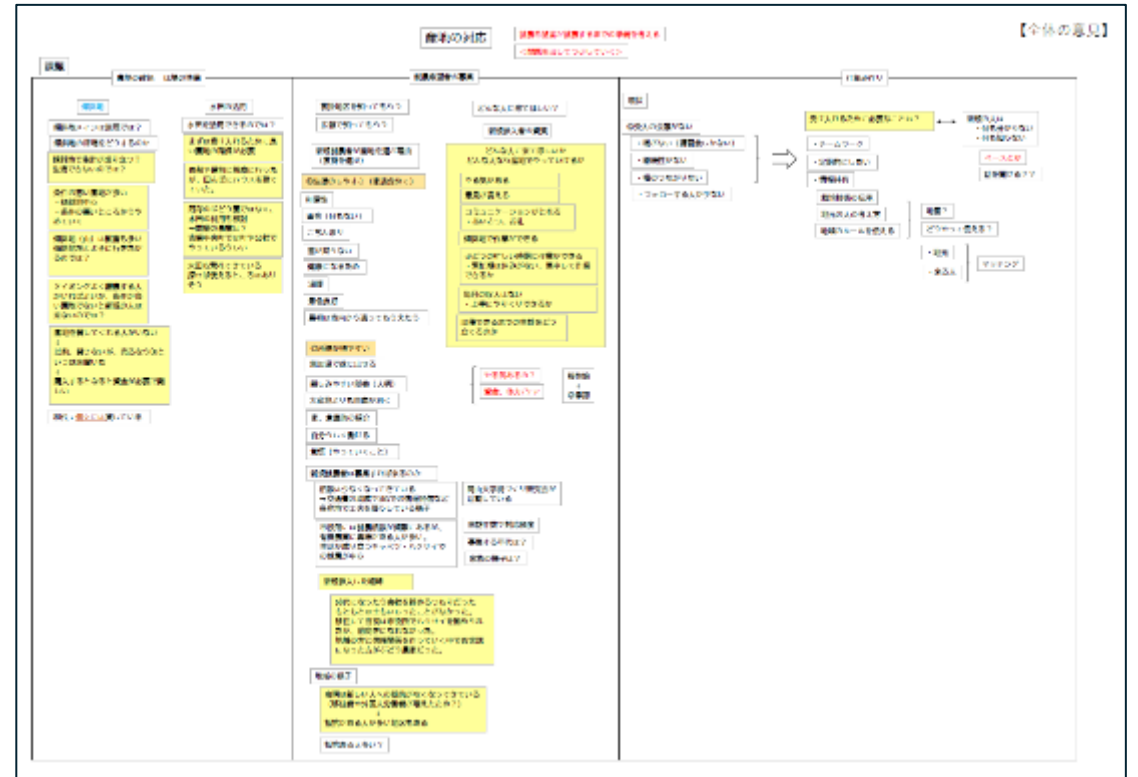
## (4) 行動を具体化し、共有しよう！！



↓ データ化



再分類

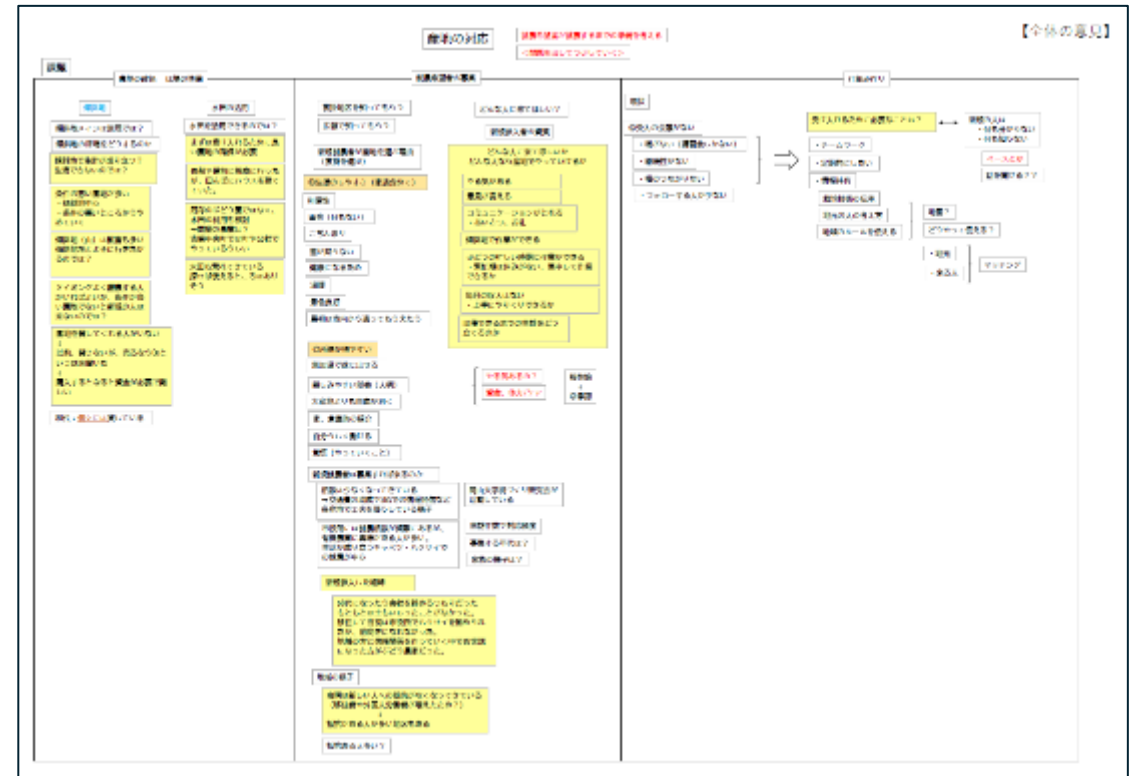


# 2. 取り組みの歩み

## (4) 行動を具体化し、共有しよう！！

### 【課題】

- ① 農地の確保、ほ場の準備
- ② 就農希望者の募集
- ③ 受け入れの仕組み作り



## 2. 取り組みの歩み

### (5) 成功事例から学ぼう！！

#### 【視察先】

- ・ どこかの優良事例 ×
- ・ 身近な優良事例 ○



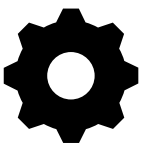
草出荷組合  
(岡山市東区草ヶ部)

#### 【選定理由】

- ・ 近年、20～40代の新規参入者が8名就農している。
- ・ ぶどうの作型がよく似ており、成功事例として参考にしやすい。
- ・ 近隣の産地であり、何となく様子を知っているが、詳しく知らない。

## 2. 取り組みの歩み

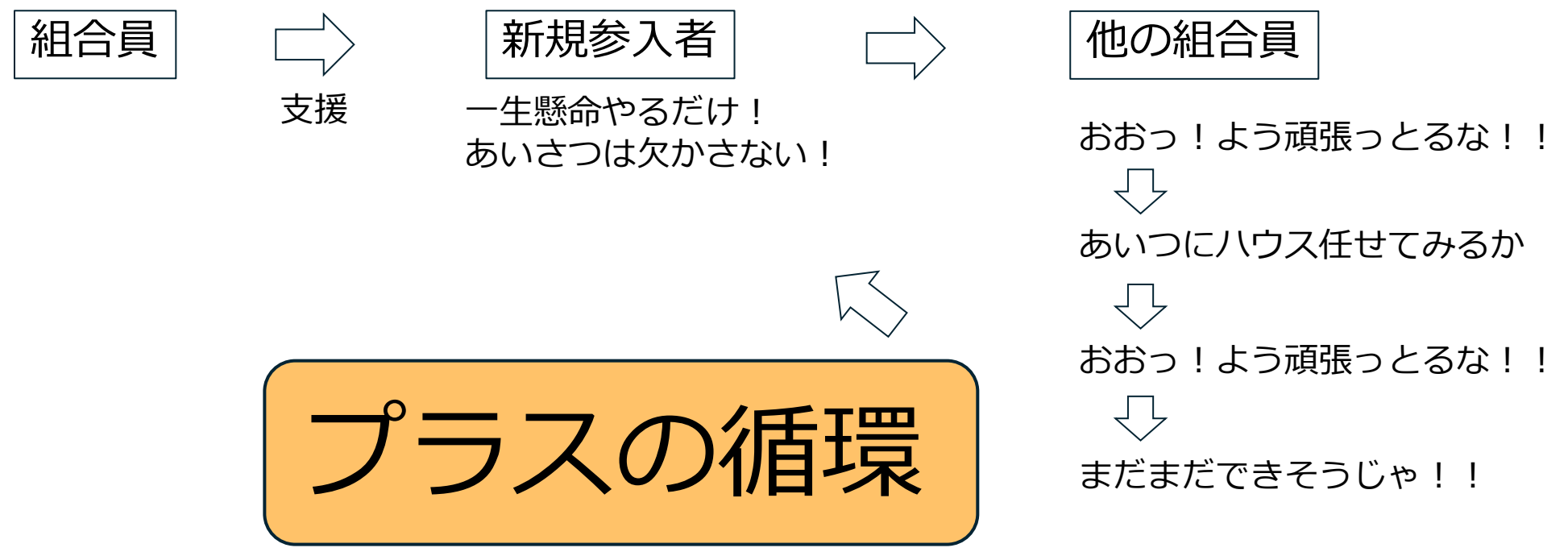
成功事例  
の共有



### (5) 成功事例から学ぼう！！

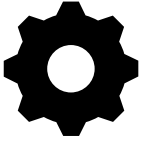
【研修先での学び】

※ 1人目の新規参入者がいかに産地に溶け込めるかが鍵



## 2. 取り組みの歩み

成功事例  
の共有



(5) 成功事例から学ぼう！

① 出荷組合の状況

【研修】

※

新規参入者に任せて大丈夫！！



空き園地情報が組合に集まる



新規参入者が参入しやすくなる

## 2. 取り組みの歩み

### (6) 産地育成という名の車輪を回そう！！

#### 【役割分担と全組合員への周知】

【ぶどう部会からのお知らせ】

裳掛に新たな担い手を!!

**担い手育成チーム  
結 成**

令和6年12月25日(水)に開催された検討会で「担い手育成チーム」が結成され、次の皆様が担当を務めてくださいます。

○総括担当：  
○担い手係：  
○技術係：  
○親睦係：

裳掛らしさを伝えるお手伝いを  
よろしくをお願いします!!

【裏面に続く→】

【担い手育成チームとは?】

新たな担い手を確保、育成するために設けたチームで、

- ・担い手係：裳掛地区の紹介、案内等
- ・技術係：栽培技術に関する相談対応等
- ・親睦係：親睦行事の企画、運営等

の3つの係で構成されています。

裳掛で暮らしてみたい、ぶどうを栽培してみたい方とのお付き合いを通じて、裳掛のぶどう産地の新しい担い手づくりを目指します。

【なぜ、担い手育成チームを作ったの?】

裳掛地区にも高齢化の波が押し寄せてきており、産地を維持するための活動が必要であると役員会で意識が共有されました。

何度か協議を重ねる中、その第一歩として、若手の会を中心として担い手育成チームを立ち上げ、活動を始めることにしました。

【私たちの関わり方は?】

裳掛の皆様、一人ひとりからのお心遣いや思いやりを少しずつ集めて活動していきたいと考えています。

担当者が中心となって活動しますので、ちょっとしたお声掛けやお手伝いを期待しています。

・全組合員へ周知するため  
ちらしを作成、全戸配布

・役割分担の実施  
旧) リーダーが対応  
新) 総括担当、担い手係、  
技術係、親睦係が対応

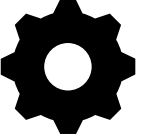
・産地として取り組む意思を  
組合員に示した。



今のところ、反対意見なし

## 2. 取り組みの歩み

動機付け



### (6) 産地育成という名の車輪を回そう！！

【各論賛成への意識醸成】

産地外からの就農希望者（不安でいっぱい）の登場

⇒ 農作業体験研修の実施

⇒ 担い手育成チームで節目ごとに会議を開催、情報共有

- ・ 約10年前に研修事業を経て就農した者の経験
- ・ 裳掛地区でぶどう栽培を始めたが、止めていった者の様子 等々…



何も対応できなかったことへの反省

それぞれがやらなければならない意識が高まった！！

あんな、そんなじゃったんかな！悪かったなあ  
自分のことが必至で何もしちゃれんかったんじゃ…

# 2. 取り組みの歩み

動機付け



(6)

【各産地

JA岡山ぶどう部会裳掛支部 作業体験スケジュール確認表

作成年月日: 令和7年9月11日(木)

作成者氏名: 備前広域農業普及指導センター 谷本純二

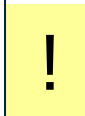
体験内容/月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
農作業体験研修	1/20 ● 面接会	2/13 ● お披露目会 2/15 ● 研修開始			5/15 ● 中間ヒアリング(関係機関) 5/19 ● 中間ヒアリング(裳掛支部)			8/15 ● 事前ヒアリング(関係機関)		10/10 ● 研修及び就農に関する打ち合わせ		
剪定	←→											
ビニール張り		←→										
新梢管理			←→									
新梢管理 花(果)穂管理 ジベレリン処理				←→								
袋掛け						←→						
収穫									←→			
組合員訪問等										←→		
土づくり											←→	

【作業体験の進め方】

- 事前面談
  - 目的: 希望者の現時点での就農意欲等を確認し、作業体験を受け入れるかどうかを判断する。
  - 構成: 希望者、裳掛支部: 支部長、担い手係、JA岡山、(一財)瀬戸内市振興公社、瀬戸内市産業振興課、備前広域農業普及指導センター
  - 方法: 希望者との面談を実施し、受入可否を判断する。併せて、作業体験の進め方や傷害保険加入等のアドバイスを行う。
- 作業体験実施
  - 目的: 農作業、部会員や地域になじめるか等、部会員と作業体験をする中で適性を確認する。
  - 構成: 実施: 希望者、裳掛支部部会員(取りまとめ: 担い手係)
  - 方法: 情報共有(随時): JA岡山、(一財)瀬戸内市振興公社、瀬戸内市産業振興課、備前広域農業普及指導センター  
担い手係が日程調整し、裳掛支部として作業体験に携わることで希望者の適性を確認する。随時、関係機関と情報を共有する。
- 状況確認
  - 目的: 希望者の作業体験の様子を把握する。
  - 構成: 希望者、裳掛支部: 支部長、担い手係、JA岡山、(一財)瀬戸内市振興公社、瀬戸内市産業振興課、備前広域農業普及指導センター
  - 方法: 担い手係が日程やメンバーを調整し、必要に応じて希望者との面談、現地確認を実施することによって、状況を把握する。
- 検討会
  - 目的: 作業体験実施状況を踏まえ、希望者が裳掛地区でのぶどう栽培で就農できるかを判断する。
  - 構成: 希望者、裳掛支部: 支部長、担い手係、JA岡山、(一財)瀬戸内市振興公社、瀬戸内市産業振興課、備前広域農業普及指導センター
  - 方法: まず、裳掛支部、関係機関で検討会、その後、希望者を含めた検討会を実施し、研修事業に進めるかどうかを決定する。

※ 産地、希望者双方が研修事業へ進むことで一致した場合、後日、就農促進トータルサポート事業の手続きについて打ち合わせを行う。

いな！悪かったなあ  
うれなかったんじゃ...

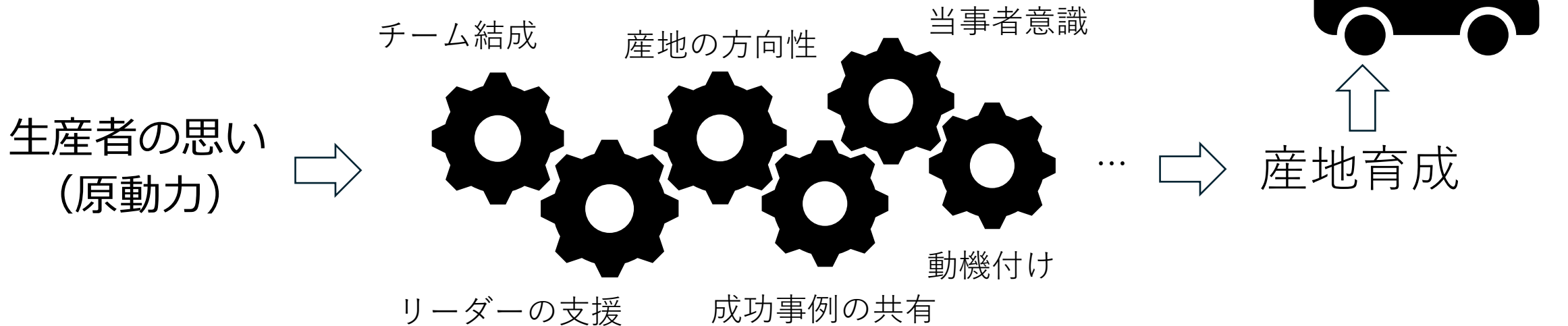


## 2. 取り組みの歩み

### (6) 産地育成という名の車輪を回そう！！

#### 【イメージ】

生産者の思いを原動力として、話し合いで歯車の種類や形を決め、組み合わせ、産地という名のクルマをあるべき場所へ。



## 2. 取り組みの歩み

(6) 産地育成という名の車輪を回そう！！

【活動で意識していること】

ワンチーム！！

サーバントリーダーとして、チームメイクする。

- ・ひとりでは何もできない。
- ・主人公は産地、生産者、自らは脇役に徹する。
- ・産地を信じる。関係機関を信じる。

# 3. まとめ

## 【産地育成で大切にしたいこと】



参加された生産者：2名



参加された生産者：6名

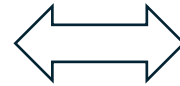
### 3. まとめ

【産地育成で大切にしたいこと】

※ 「産地育成」には「利他の心」が大切

「利他の心」

自分以外の誰かのために  
行動しよう。



「利己の心」

自分自身のために行動  
しよう。

誰かのために何かをする、  
その行動こそが「産地育成」を支える。

### 3. まとめ

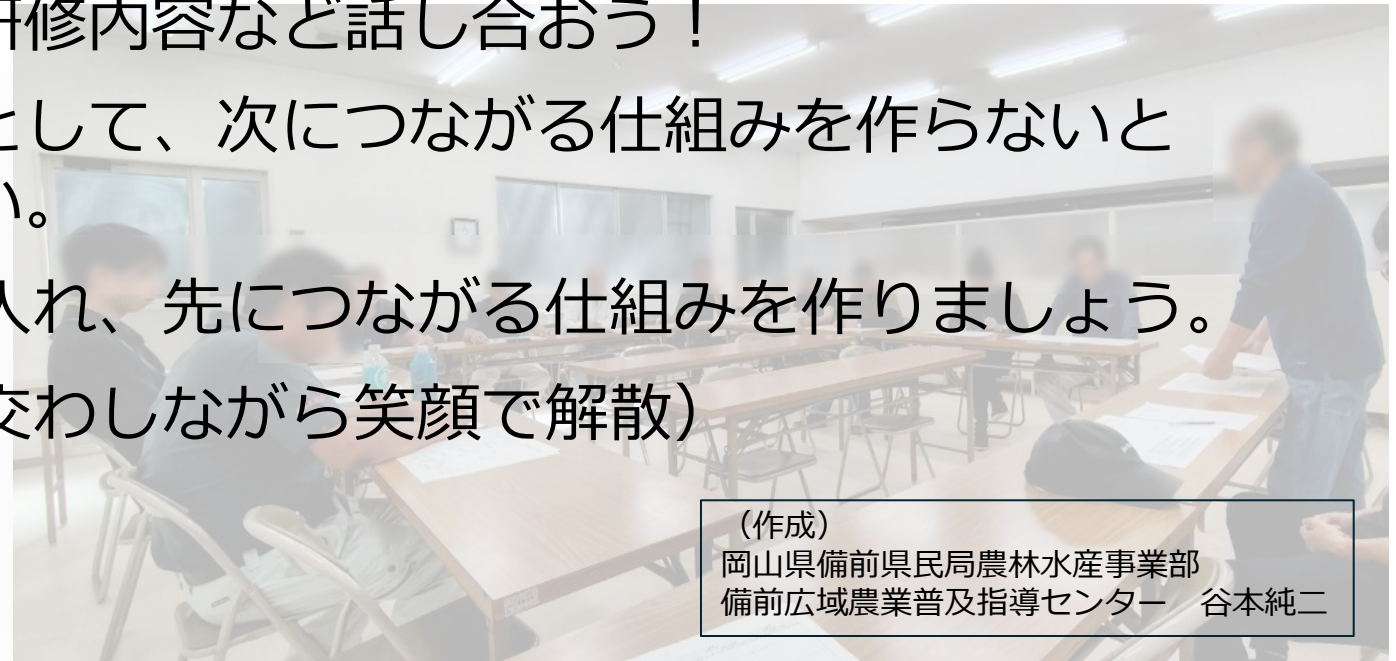
#### 【産地育成で大切にしたいこと】

- ・ 課題解決の答えは、産地にある。
- ・ 産地の声を聴き取る。
- ・ 伴走支援に徹する。
- ・ 担当者の目線は産地と揃える。
- ・ 結果を急がない。行動のタイミングは適切に。

# 【エピソード】

(作業体験研修生の受入最終面談で)

- ・ 私：産地として就農まで支援していきますか？
- ・ メンバー全員：・・・（無言）。
- ・ 私：受け入れないという判断もありますよ。支援がなければ就農できません。
- ・ リーダー：月1回集まって、研修内容など話し合おう！
- ・ メンバーのひとり：彼は当然として、次につながる仕組みを作らないと意味がない。
- ・ 私：分かりました。彼を受け入れ、先につながる仕組みを作りましょう。
- ・ メンバー：・・・。（雑談を交わしながら笑顔で解散）



(作成)  
岡山県備前県民局農林水産事業部  
備前広域農業普及指導センター 谷本純二

# 【エピソード】

(作業体験研修生の受入最終面談で)

私：産地として就農まで支援していただけますか？  
メンバー全員：・・・(無言)。  
私：受け入れなければ判断もありません。支援がなければ就農できません。  
**裳掛のぶどう産地育成は始まったばかり。  
引き続き活動していきます！**

- ・リーダー：月1回集まって、研修内容など話し合おう！
- ・メンバーのひとり：彼は当然として、次につながる仕組みを作らないと意味がない。
- ・私：分かりました。彼を受け入れ、先につながる仕組みを作りましょう。
- ・メンバー：・・・。(雑談を交わしながら笑顔で解散)

(作成)  
岡山県備前県民局農林水産事業部  
備前広域農業普及指導センター 谷本純二